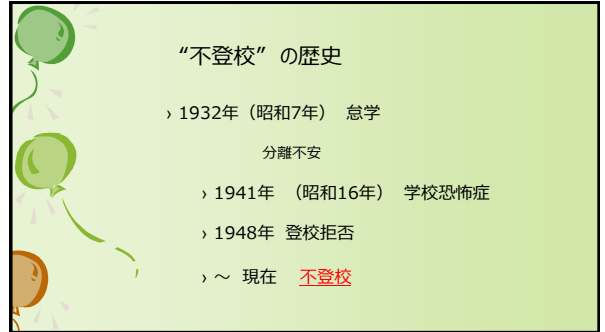




不登校

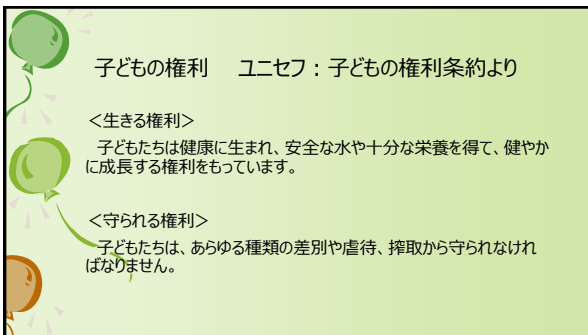
～カウンセラーの視点から見てくるもの～

市川カウンセリングオフィス
市川 雅美



“不登校”の歴史

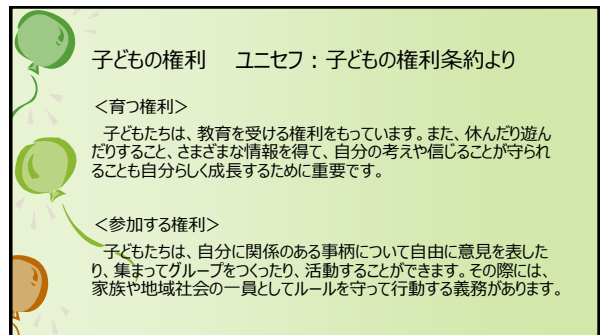
- › 1932年（昭和7年） 总学
分離不安
- › 1941年（昭和16年） 学校恐怖症
- › 1948年 登校拒否
- › ～ 現在 **不登校**



子どもの権利 ユニセフ：子どもの権利条約より

<生きる権利>
子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、健やかに成長する権利をもっています。

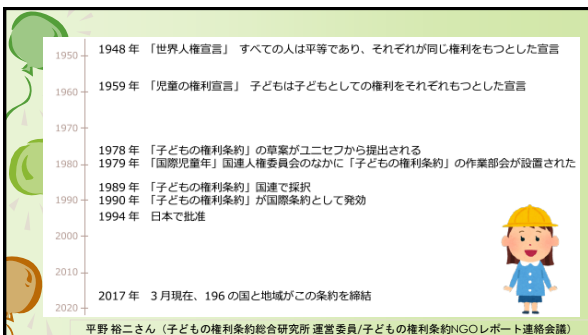
<守られる権利>
子どもたちは、あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守られなければなりません。



子どもの権利 ユニセフ：子どもの権利条約より

<育つ権利>
子どもたちは、教育を受ける権利をもっています。また、休んだり遊んだりすること、さまざまな情報を得て、自分の考えや信じる事が守られることも自分らしく成長するために重要です。

<参加する権利>
子どもたちは、自分に関係のある事柄について自由に意見を表したり、集まってグループをつくったり、活動することができます。その際には、家族や地域社会の一員としてルールを守って行動する義務があります。



1950 1948年 「世界人権宣言」 すべての人は平等であり、それぞれが同じ権利をもつとした宣言

1960 1959年 「児童の権利宣言」 子どもは子どもとしての権利をそれぞれもつとした宣言

1970

1978年 「子どもの権利条約」の草案がユニセフから提出される

1979年 「国際児童年」国連人権委員会のなかに「子どもの権利条約」の作業部会が設置された

1980

1989年 「子どもの権利条約」国連で採択

1990年 「子どもの権利条約」が国際条約として発効

1994年 日本で批准

2000

2010

2020 2017年 3月現在、196の国と地域がこの条約を締結

平野裕二さん（子どもの権利条約総合研究所 運営委員/子どもの権利条約NGOレポート連絡会議）



小公虐待母に有罪判決

手籠り 自ら夫に迎合批判

虐待 大規模

2019年8月1日 毎日新聞

家族という“呪縛” 家族心理学・家族療法より

- › 家族療法が着目するところ
 - › 1. 家族の歴史 ジェノグラム
 - › 2. 家族の構造 世代間
 - › 3. 家族の機能 コミュニケーション

家族の“呪縛”という悪循環 → 良循環へ

不登校は誰のため（の言葉）？

- › 親（家族）のため？
- › 支援者のため？
- › 教育関係者のため？

悪循環 → 良循環へ

子ども自身のため！！

問題志向から解決志向へ

- › 問題解決法（問題志向）
問題を見つけ、それを排除する
- › 解決構築法（解決志向）
解決するために必要なリソースを活用する
解決そのものを作っていく

